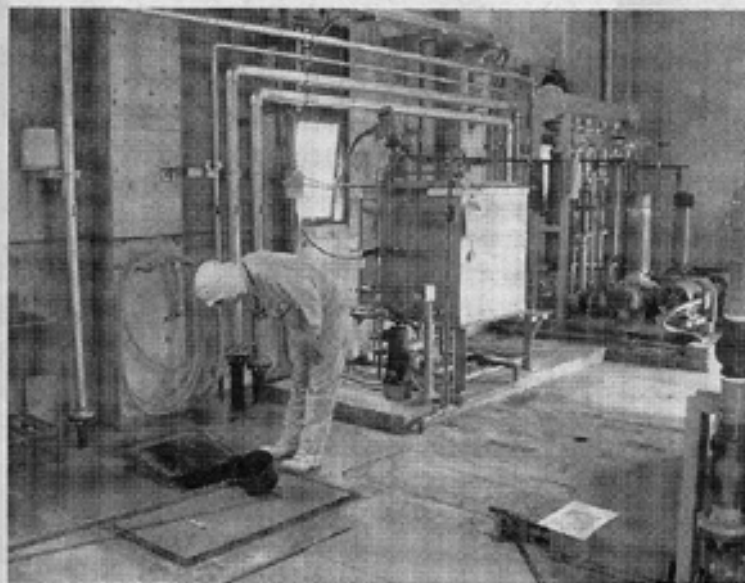


油脂含有廃水を分解処理

汚泥や悪臭の大幅削減へ



神戸本社工場の処理設備

ユーハイム

洋菓子メーカーのユーハイム（神戸市、河本武社長）は、菓子製造工場3カ所で廃水処理設備「オイルバクターシステム」を導入、汚泥の発生を抑え、処

理コストを削減することに成功した。

オイルバクターシステムは、油脂分解力を強化した微生物「オイルバクター」の働きで、凝集汚泥を発生させる

事なく、低いランニング

コストで油脂廃水を処理できるのが特長

だ。水処理プラントメ

ーカーのケイエルプラ

ント（東京・新宿）が

開発、森本組（大阪市、

環境営業部 ☎03・5

155・6750）が

販売を行っており、こ

れまで食品工場を中心

に約100件以上の納入

実績を持つ。

ユーハイムでは19

99年、千葉県の船橋

工場に第1号機を採用

した。1日当たりの廃

水量は約80立方メートル。シ

ステム導入前は、薬剤

を用いて水中の汚濁物

質を凝集除去する加圧

浮上方式で処理してき

たが、▽多量の凝集汚

泥が発生▽汚泥、廃水

からの臭気▽装置のメ

ンテナンスが煩雑――

などの問題があった。

導入後の処理設備

は、原水槽、スクリー

ン、油脂分解槽、接触

ばっ気槽、強化微生物

培養槽で構成。オイル

バクター菌の作用によ

り油脂分解槽で油脂を

分解し、残ったBOD

を接触ばっ気槽で分解

する仕組みで、汚泥の

発生はゼロになったと

いう。

その後、滋賀工場（1

日当たりの廃水量80立

方メートル）、神戸本社工場

（同60立方メートル）でも加

圧浮上方式から変更

し、オイルバクターシ

ステムを採用。ユーハ

イム関西支社製造部生

産管理課設備技術係の

伊井野則人主任は、「汚

泥処分費のほか、運転

管理者の人員費、凝集

剤などのコストを削減

できた。また、臭気の問題も驚くほど改善し

た。導入により、従業

員の環境意識向上にも

つながっている」と話

している。

【記事の出所先】

発行元：（株）日報
発行媒体：循環経済新聞
発行日：平成22年5月14日